

関西医療学園 公益通報等に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、学校法人関西医療学園（以下「学園」という。）の業務に関し、法令、学園寄附行為若しくは学園諸規程に違反する行為又はそのおそれがある行為（以下「法令違反行為」という。）が現に生じ、又はまさに生じようとしている場合において、その早期発見及び是正を図るために必要な体制を整備し、もって学園の健全な発展に資することを目的とする。

(コンプライアンス窓口)

第2条 学園は、法令違反行為に関する通報及び相談（以下「公益通報等」という。）に応じるため、コンプライアンス窓口を総務部に設置する。

2 学園の常勤及び非常勤の教職員（以下「教職員」という。）は、コンプライアンス窓口において、公益通報等を行うことができる。

(公益通報等の方法)

第3条 公益通報等は、面談、手紙、電話、ファックス、電子メール等の方法によって行うことができる。

2 教職員は、公益通報等を行う場合において、当該本人を特定する情報を秘匿することができる。

(禁止事項)

第4条 教職員は、不正の利益を得る目的、学園又は第三者に損害を加える目的その他の不正の目的を持って、公益通報等を行ってはならない。

(相談への対応)

第5条 コンプライアンス窓口において、教職員から法令違反行為に関する相談を受けた場合は、内部監査委員会委員長に報告しなければならない。内部監査委員会委員長は、その内容に応じて、迅速かつ適切に対応しなければならない。

(調査の開始)

第6条 通報を受けた内部監査委員会委員長は、内部監査委員会を招集し、遅滞なく、その調査を開始しなければならない。ただし、法令違反行為として通報された事実が存在しないことが明らかであるときは、この限りではない。

2 内部監査委員会委員長は、前項の定めにより調査を開始する場合は、当該教職員に対し、その旨を通知しなければならない。ただし、当該教職員の連絡先が明らかでない場合は、この限りではない。

(調査の実施)

第7条 内部監査委員会は、法令違反行為として通報された事実について、書類調査、实地調査、報告及び説明の聴取その他の適切な方法により調査を行う。

2 内部監査委員会は、調査対象部門の責任者及び調査対象者に対し、調査の実施のために必要な帳票及び資料の提出又は事実の報告及び説明を求めることができる。

3 調査対象部署の責任者及び調査対象者は、前項の請求があった場合は、正当な理由があ

る場合を除いて、これに応じなければならない。

- 4 内部監査委員は、調査の実施のために必要と認める場合は、理事長の許可を得て、理事会、その他の会議に出席し、又はその議事録を閲覧することができる。

(遵守事項)

第8条 内部監査委員は、その職務の遂行に当たって、次の事項を遵守しなければならない。

- (1) 教職員及び第三者の権利又は正当な利益を侵害しないこと。
- (2) 調査対象部門や調査対象者の業務の遂行に重大な支障を与えないこと。
- (3) 常に公平不偏の態度を保持し、事実に基づいた調査を実施すること。
- (4) 公益通報等を行った教職員個人を特定する情報について、本人の同意がある場合を除き、その秘密を保持すること。
- (5) 職務上知り得た事実を正当な理由なくほかに漏らさないこと。

- 2 内部監査委員は、その職を離れた場合であっても、前項第4号及び第5号に定める事項を遵守しなければならない。

- 3 コンプライアンス窓口の職員は、第1条第4号及び第5号に定める事項を遵守しなければならない。その職を離れた場合であっても同様とする。

報告等)

第9条 内部監査委員会委員長は、公益通報等を受けたときは、その旨及びその内容（ただし、公益通報等を行った教職員本人の同意がない場合は、当該本人を特定する情報を除く。）を理事長に報告しなければならない。

- 2 内部監査委員会委員長は、調査を開始した後、適宜、その進捗状況を理事長に報告するとともに、調査を終了した後、直ちに、その結果を理事長に報告しなければならない。

- 3 理事長は、法令違反行為の存在が確認された場合は、遅滞なく、その是正措置及び再発防止措置を講じなければならない。

- 4 内部監査委員会委員長は、前項の措置が講じられた場合は、当該措置に係る法令違反行為に関する通報を行った教職員に対し、その措置の内容を通知しなければならない。ただし、当該教職員の連絡先が明らかでない場合は、この限りではない。

(不利益取扱いの禁止)

第10条 学園は、教職員が公益通報等を行ったことを理由として、当該教職員に対し、解雇、減給、降格その他の不利益な取扱いを行ってはならない。ただし、教職員が不正の目的をもって公益通報等を行った場合は、この限りではない。

- 2 教職員は、他の教職員が公益通報等を行ったことを理由として、当該教職員に対し、不利益な取扱いを行ってはならない。

(軽減措置)

第11条 法令違反行為に関与していた教職員が、内部監査委員会がその調査を開始する前に自ら公益通報等を行った場合は、当該教職員の処分を免除し、又はその程度を軽減することがある。

(事務)

第12条 委員会に関する事務は、総務部において処理する。

(改 廃)

第13条 この規程の改廃は、理事会の議を経て、理事長が行う。

附 則

1. この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

1. この規程は、平成26年4月1日から施行する。